

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部

教育委員会

課

生涯学習課

施設名	今戸社会教育館		指定管理者の名称	株式会社 山武		
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	(平成20年3月末現在) 東京都北区滝野川体育館他14施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位: 百万円]	
	平成17年度	63,341	52,468	10,872		
	平成18年度	67,640	53,489	14,151		
	平成19年度	71,441	54,176	17,265		
2. 施設の概要						
①所在地	台東区今戸2-26-12 今戸住宅2階 待乳保育園と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体、教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民、その他一般団体					
④開館日・開館時間	火曜日～日曜日：9時～22時、月曜日：13時～22時 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4)					
⑤規模	ホール50人 第一会議室30人 第二会議室40人 和室30人					
⑥人員体制	週40時間勤務 1人 週30時間勤務 3人					
3. 事業(サービス提供)の概要						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	講座事業					
4. 施設の稼働状況等						
		利用件数	利用人数	利用率		
平成18年度		825件	11,510人	22.8%		
平成19年度		923件	13,289人	23.6%		
5. 予算決算の推移 (単位: 円)						
年度		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	—	14,540,000	13,914,000	15,214,000	
	料金収入等	—	2,200,000	2,500,000	1,200,000	
	管理経費	—	16,740,000	16,414,000	16,414,000	
決 算	委託料	—	14,540,000	13,914,000		
	料金収入等	—	1,002,820	1,102,790		
	管理経費	—	16,266,376	16,266,253		
	収 支	—	-723,556	-1,249,463		

6. 評価項目		3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 —：評価対象外項目	
評価の観点	評価項目		
①事業の運営 平均 [1.9]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [1] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [1.8]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [1] (4)利用料等の徴収・管理 [2]	
7. 評価		A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A-	自主事業については、講座の希望者が定員を上回った講座があるものの、全体的に実施回数を増やすことが今後の課題である。	
②施設の維持管理	A	区からの申し出は、社会教育センターの所長を通して対応できている。今後は社会教育センターと連携を取って、自主的に対応できるかが課題である。	
③利用者の満足度	A	指定管理者による管理となってからも、徐々にではあるが前年度を上回る利用率を上げている。	
④歳入歳出	A-	歳出については適正に行われているが、歳入は事業計画上の目標に近づけるよう努力が必要である。	
⑤総合評価	A-	利用者の拡大のための広報活動や、自主事業の充実が課題である。	
8. 課題への対応等			
<p>指定管理者による管理となってからも、徐々にではあるが利用率は上がっている。より利用率を上げるためには、多くの参加者が見込める自主事業を考えていくことが必要である。</p>			